



中丹高次脳機能障害者と家族の会

No130号 2021.5.10

“さくらの会”便り

発行責任者
会 長 山本 静子
編集責任者
事務局 長 上原 栄
Tel.0773-22-7859

ーリラックスできて、はげまし合うところ、勇気を与えられるところー

第17回 定期総会

新会長には山本静子さんが 議案は満場一致で可決

第17回定期総会が4月18日（日）市民交流プラザふくちやまにて23名（オンライン参加9名、会場参加14名）と来賓1名、オンライン支援者1名が参加し、開催されました。

総会は、吉岡早映子さんの進行で、福知山市健康福祉部障害者福祉課 課長の西山よう子様の来賓紹介の後、田中会長の挨拶を受け、令和2年度の活動報告、会計報告が承認されました。

また、令和3年度の活動計画（案）、予算（案）が事務局から提案され、満場一致で可決されました。

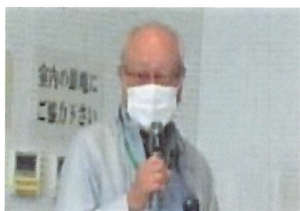
途中、オンラインでの対応で、聞こえにくい等でご迷惑をかけました。



会長に山本静子さんが就任されました、世話役として、綾部：高倉涼子さん、福知山：坂本智さん、南丹：水谷千里さん、会計に吉岡早映子さん。

前会長の田中明さんは顧問として選出されました。

選出された令和3年度の役員全員の名簿は、最後のページに載せています。



新旧役員の挨拶では、旧役員を代表し、前 田中会長から、新役員を代表して山本静子新会長から挨拶がありました。

世話役の山本勉さん、廣野直子さん、西村正弘さん、田中昌代さん、会計で富永幸雄さん長い間お世話になりました。

オンライン交流会

オンラインでの交流会では、綾部市立病院作業療法士古川絵美様の進行で、自己紹介、近況報告、過ごし方、生活の工夫、困ったこと等を話し合いました。





新たな取組に敬意を 市 福祉課長西山氏

来賓の西山様は、時間の関係で途中退席となりました。翌日、ご挨拶を頂いていきますので紹介させていただきます。

日ごろより福知山市の福祉行政の推進に御理解、御協力をいただき感謝申し上げます。

さくらの会様では、Zoomなどを利用した交流会を開催されるなど、コロナ禍における新たな取組をされていることに敬意を表します。



今後も、高次脳機能障害のある方への理解や支援の充実に向け、関係機関の皆様と連携し取組を進めていく所存でございます。

さくらの会の益々の御発展と、会員皆様の御健勝と御多幸を心より祈念いたします。

福知山市障害者福祉課

課長 西山 よう子

精一杯務めていきたい

(山本静子新会長の挨拶)

新緑の映える頃になりました。皆様、お元気でお過ごしでしょうか。

今回、はからずも会長という大役を受けることになりました。先輩の皆さんの積み上げて来られた事に感謝し、さくらの会の今後の姿を思い浮かべながら、微力ではありますが精一杯務めて参りたいと思います。

よろしくお願いします。



助けあいながら 生きていこう

(感想)

11月からオンライン交流会をはじめ、本日で3回目となり、会員の皆さまも慣れてこられ、大きなトラブルも無く開始することができました。今回は初めてのハイブリッド型（オンラインと対面の組み合わせ）で総会を支援いたしました。プロジェクター接続の不具合で画面に映し出すことはできませんでしたが、皆さま、お手持ちのPCやスマートフォンを駆使され、オンライン参加の会員の方と交流を図ることができました。

交流会では、近況や困りごと、日々の様子などを話し合うことができました。特に印象的だったことは、当事者間で職場への対応や工夫点をアドバイスされていたことです。コロナの事情で直接会えない中でも、つながりを感じ、お互い助け合いながら生きていこう！という力強さを感じました。

参加させていただき、ありがとうございました。

(古川絵美)

オンラインもいいけど 実際に会いたい

家族 (C・M)

オンラインで顔が見られる時代になり、素晴らしいことだなあとつくづく感じますが(次ページへ)

(前ページより)

やはり実際に集まって、顔を見ながらお話しをするのとは違うので、また皆さんとお話できる日を楽しみにしたいと思いました。コロナ禍のせいで普段元気な人も何となくやる気が出ないなどの影響があるのではないかなと思うので、天気の良い日は散歩でもして気分転換するのが良いかもしれませんね(^-^)皆さんお元気で！

久しぶりに話が できて良かった

(M・O)

久しぶりに馴染みの人たちとお会いし、少し会話も出来て楽しかったです。

会場とオンラインでの参加混在の問題点が、音声の聞き取りにくさに有るのがわかり、今後は会場でも各人が端末を持ってきたら良いのではないかなと思いました。

心が少し軽くなりました

4月に入会された会員の紹介
(自己紹介)

さくらの会の皆様、初めまして、
京丹後市網野町の高田玲子と申します。

21歳の娘が5歳の時に脳腫瘍の手術をして以来5回の手術と放射線の治療を受けてきました。

子供の頃から、こだわりが強かったり、

当事者も家族も 頑張り過ぎないように

(家族 R・T)

オンラインで参加させていただき
ありがとうございました。

コロナ禍でも工夫しながら、お仕事を頑張っておられたり、参考にさせて頂けるお話を聞くことが出来ました。

家族として、もう少し主人の事を理解し、上手く対応出来るようになるのではと思いました。

当事者も家族も頑張りすぎないことが大切ですね。

感情コントロールができない等で学校の先生や同級生に理解してもらうことが難しく、学校生活もうまくいきませんでした。

現在は、娘に合った居場所がなく、家でアクセサリーや小さい物を作って、カフェ等で販売させていただいたりしています。

高次脳機能障害は、周りに理解されにくいですし、いつも一緒にいる家族が心の部分で辛かったり、しんどくなったりする時があります。

今までは北部の方でそのようなお話を聞いて下さったり、お話を聞かせて下さる方々には、お会いすることはないと思っていましたが、同じ網野町の野村さん

(さくらの会世話役)を通じて、こちらの会を紹介していただきました。そのことだけでも私の心は少し軽くなりました。これから
よろしく願いいたします。



中丹高次脳機能障害者と 家族の会「さくら」

令和3年度 役員名簿

会 長 山本 静子
副会長 栗野 勝彦
(新) 世話役(綾部) 高倉 涼子
(新) 世話役(福知山) 坂本 智
世話役(丹後) 西垣 実樹
世話役(丹後) 山添 敦子
(新) 世話役(南丹) 水谷 千里
※脳外傷・高次脳機能障害
リハビリテーション京都実行委員会
担当 高橋 宏
(新) 顧問 田中 明
【支援会員】
事務局長 上原 榮
(新) 世話役・会計 吉岡早映子
世話役・会計 上原 保子
(助成金等)
世話役(舞鶴) 大槻 節子
世話役(丹後) 野村 俊彰
世話役(便り担当) 藤原 勲
世話役(行事等の支援) 黒木 広宣
世話役・会計監査 柴田 直美
世話役・会計監査 片尾 収作



【編集後記】

▼福知山市内の小学校でコロナ感染者が出て学級閉鎖が続き、プールでクラスターが発生した。コロナ感染者が4月に入って、急に増えたので「さくらの会」の総会を開催していいものか心配した。蜜を避けるため、急きょ広い会場に変更し、会場参加者にオンライン参加をお願いした。
▼1週間後だったら緊急事態宣言が出て、総会を開催出来なかったすべての国民が、ワクチン接種できるのはいつのことやら・・・
▼医療従事者の接種も、まだの方がおられると報道。安心して、生活できる日が来る事を祈るばかりです。

京都府北部リハビリテーション支援センターから

皆様いかがお過ごしでしょうか。

昨年度の当センターの活動は、コロナ禍の中、北部高次脳力フェは開催しましたが少ない参加者で十分な活動ができず、交流会も実施できないなど様々な影響を受けました。

その中でも、北部地域を対象としたネッ

トワーク会議にWEBを活用するなど新たな取り組みも行いました。

今年度は、近藤センター長が新しく就任し、職員一同感染予防に配慮しつつ工夫して取り組みを行いたいと考えています。

さくらの会の皆様とも様々な取り組みを行っていきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

